

### 西日暮里駅周辺の環境改善、ドッグランの整備を問う

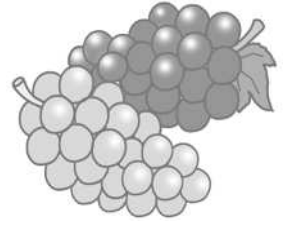


清 水 啓 史  
(民主・市民)

西日暮里駅周辺の環境改善を問う  
4路線が乗り入れる西日暮里駅周辺は通行者も増えているが、駅舎を出ると駅の構造上薄暗く、歩道も狭く感じられる。荒川区の玄関口にふさわしい駅前となるよう、環境改善への取り組みを求めるが、見解を問う。

西日暮里駅は、開業時、既に市街化が進んでいたことなどから、駅前広場など周辺の都市基盤が十分に整備されていない課題は区としても認識している。現在、市街地再開発事業を進めており、その中で、駅周辺が快適な空間となるよう、環境改善について検討する。ドッグランの整備を問う  
港区ではドッグランを試行した検証結果として、有効性と課題を取りまとめ、設置条件と管理の基本的な考え方を示している。ドッグラン設置のニーズがある中で、区は整備に当たりどう考えるのか。

なった組織に管理運営してもらうことが重要であり、これらの解決状況を踏まえることが整備に当たる際の基本的な考えである。  
○教育委員会制度改正について  
○鉄道沿線住民への対応について  
その他の質問項目



### 「言論空間の正常化を各分野で進める」と及び「歪んだ民主主義等で息苦しさや危険を誘引する風潮の是正」を求める



小坂 英二  
(日本創新党)

言論空間の正常化を各分野で進めるよう求める

区役所内での幹部職員の政党機関紙購読状況調査を行い、庁舎内購読要請 集金は止めるべき。

区は部活解放同盟発行の解放新聞を毎月100部購読している。著しく不当で購読を廃絶すべき。区は参考資料として購入し、必要な部数の見直しを行ってきた。区内での特定の新聞社のみ新聞掲載設置は偏った政治誘導になる。撤去や用途変更すべき。

区内の各議員の判断で購読の購読要請 集金は止めるべき。読しており、庁舎管理等の観点から、大きな問題はないと認識している。歪んだ民主主義等で息苦しさや危険を誘引する風潮の是正を問う  
手持ち花火は、区立公園では全面禁止となっているが、ルールや防火体制等条件を満たすモデル公園では可能とすべき。

写真は新聞「ニュース」については、企業からの寄付により、各校で掲示しているものである。

公園での花火の使用は、現状

から見ると認めることは難しい。自治基本条例は議会制民主主義を機能不全に陥れるもので、断じて制定すべきでないと考え。自治基本条例は、現時点で区民の中に、制定の機運が高まっている状況にはないと認識している。



### 荒川区立第三日暮里小学校の管理運営について問う



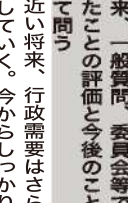
浅川 喜文  
(正論の会)

荒川区立第三日暮里小学校女性校長の遅刻等の常習化について問う  
第三日暮里小学校校長は平成22年度に就任以来、遅刻が常態化している。例えば平成23年度は1月7回、2月12回、3月5回と3か月間だけで24回も遅刻したが、年休申請は4回だけである。平成24年度も4月6回、5月6回、6月5回と3か月間だけで17回も遅刻したが、年休申請は7回だけである。これで教育者と言えるのだろうか。関係者がこの件について陳情しているが解決していない。異常な校長の勤務実態を教育委員会はどう認識しているのか。

24年度も4月6回、5月6回、6月5回と3か月間だけで17回も遅刻したが、年休申請は7回だけである。これで教育者と言えるのだろうか。関係者がこの件について陳情しているが解決していない。異常な校長の勤務実態を教育委員会はどう認識しているのか。

校長の勤務状況は、これまでも問題があるとの指摘があり、具体的に調査を行った。4月以降の出勤状況では、出勤を確実に確認できない日があったため、教育委員会として厳しく指導し、現在は定刻までに出勤させている。  
第三日暮里小学校校長の遅刻の常態化や虚偽の年休簿提出及び職員に対するパワーハラスメントは、東京都教育委員会の懲戒事由に該当する。適正に都教育委員会に懲戒処分を内申すべきである。  
質問にあつた案件も含め、さらに継続して調査を行うとともに、PTAや地域の方々の意見も伺い、必要に応じて厳正な対応を取る。

### 昨年来、一般質問、委員会等で提案したこと及び巨大地震対策、提案し続けている具体策の実現・実施について問う



斎藤 泰紀  
(自民党)

昨年来、一般質問、委員会等で提案したこと及び巨大地震対策、提案し続けている具体策の実現・実施について問う

近い将来、行政需要はさらに増大していく。今からしっかりと行政改革に取り組むことが必要であり、その方針を具体的に決め、実質的・具体的計画を策定することが必要と考えるかどうか。

今後の行政評価においては、職員の経費削減に向けた意識を高め、中長期的な事業の在り方についても検討する。行政改革の方向性を定める「あらかわ区政経営戦略プラン」では、年次計画には至らない検討事項についても課題として明示するよう指示している。小規模事業者経営力強化支援

を見直し、老朽化した尾久図書館は宮前公園内に整備してどうか。  
来年度は第二次子ども読書活動推進計画の最終年度で、28年度には、(仮称)荒川二丁目複合施設の開館を予定している。新たな読書活動推進計画は、提案の宣言や条例も視野に入れて策定する。また、図書館の適正配置や在り方を考える中で、尾久図書館建て替えの必要性は認識しており、宮前公園等の整備と合わせ検討する。  
巨大地震対策、提案し続けている具体策の実現・実施は  
水 巨大震災で、飲料水、生活用水の確保は、現状のままでは十分と考える。深井戸整備の際には、消防水利用だけでなく、飲料水としても活用してはどうか。  
震災時には、各所に蓄えている飲料水の搬送が困難になることも予想される。荒川公園に設置予定の深井戸は、水質検査を実施し、ろ過機なども活用し、飲料水としての基準を満たせるよう検討する。

### 9月会議日程

9月11日	本会議
9月12日	本会議
9月17日	本会議
9月17日	総務企画委員会
9月19日	福祉・区民生活委員会
9月19日	文教・子育て支援委員会
9月26・29・30日	建設環境委員会
10月2・3・6・7・9日	決算に関する特別委員会
10月14日	議会運営委員会
10月15日	本会議

震災時には絶対に必要な、緊急医療救護所を区内6か所に設置することは決まったが、具体的な準備は進んでいない。医師の配置体制や医療資器材等の整備はいつ頃までに、どう進めていくのか。  
医師等の配置は医師会の協力により、震災時直ちに緊急医療救護所へ人員を派遣してもらうことになっており、詳細について協議を進めている。また、震災から3日間分の医薬品・医療資器材を今年度中に備蓄する予定である。  
その他の質問項目  
○子育て環境整備について  
○尾久地区のいくつかの課題解決  
他地区にも関連して

平成26年度荒川区議会定例会11月会議は11月27日に開かれる予定です。